

# 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析

逗子市立沼間小学校

調査結果の概要及び教科の課題等(○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等)

## 【 国語 】

### 《言葉の特徴や使い方に関する事項》

●漢字で書き表す問題の正答率が低く、基本的な漢字が十分には身につけていない。反復練習の機会を設けたり、アナログとデジタルの使用比率を検討したりするなど、定着度を高めるための工夫をしていきたい。

### 《情報の扱い方に関する事項》

○全国および神奈川県より正答率が高い。日常的に情報機器を用いて学習を進めていること、その際に情報の扱い方に留意した指導を行っていることなどが成果につながっていると考えられる。情報収集の方法やその信憑性の判断法などを確認しながら、今後の学習にも積極的に取り入れていきたい。

### 《読むこと》

○登場人物の相互関係や心情について、記述をもとにとらえることができている児童が多い。また、人物像を具体的に押さえるなど、物語文全体の内容の把握を求められる問題の正答率も高い。文学的文章の読解は校内研究のテーマにつながることであり今年度学校全体で力を入れて取り組んできた。それが成果につながっていると考えられる。今後も継続的に指導の工夫を心がけていきたい。

### 《児童質問紙 国語に関する質問》

「国語の勉強は大切だと思う」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」など、国語学習の意味や意義を前向きにとらえている児童が多い。一方で、言語の知識面に関して課題が見られることから、具体的な手立てを検討して改善を図りたい。

## 【 算数 】

### 《知識・技能》

○「計算」「図形」「データの活用」など、分野を問わず定着度が高い。単元の導入を丁寧に行い、基礎的な問題演習の時間を十分に確保できていることが、成果に結びついていると考えられる。

### 《思考・判断・表現》

●全国平均より低い。特に「答えを判断してその理由を書く」など、計算の過程を言語化したり式で表したりする問題の正答率に課題が残る。知識・技能を使って答えを出すだけでなく、その過程を説明するような機会を取り入れていきたい。

### 《記述式》

●無回答率は全国平均と同程度だが、正答率がやや低い。上述の「思考・判断・表現」の項目と同様、知識や理解を使って答えを出すだけでなく、その過程を説明するような機会を取り入れていきたい。

### 《児童質問紙 算数に関する質問》

「算数の勉強は大切だと思う」と回答している児童が多い。一方で「解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」「今後の学習で活用しようとしている」といった項目はあきらかに低い。粘り強く問題に向き合う姿勢を養うとともに、以降の単元内で既習事項に目を向けさせるような声かけをしていきたい。

### ◎児童質問紙の結果 特徴的なことや課題と考えられること等

基本的な生活習慣の定着度がやや低めである。起床時刻や就寝時刻が不規則になりがちで、スマートフォンなど電子機器の長時間の利用がその一因であると考えられる。それらの利便性と注意点を児童とあらためて共有し、生活リズムを整えることの大切さを再確認していきたい。

### ◎調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて学校として取り組むこと

基礎・基本定着のための工夫をしつつ、学んだことを他単元や他教科に応用できるのではないかという気付きをもたせられるような支援をしていく。